

## 令和5年度第2回鈴鹿市健康づくり推進協議会 議事録（概要）

日時 令和6年1月25日（木）14時～15時  
場所 鈴鹿市保健センター 2階 すこやかホール  
出席者 委員：尾崎 郁夫、山中 智博、山路由実子、栗本 元子、岡 宏次、  
元橋 庸好、上荷 裕広、前川 和子、藪田 啓介、亀井 秀樹、  
山本 勝也、藤井 さゆり、樋口 侑佳  
事務局：健康福祉部長、保険年金課長、スポーツ課長、地域医療推進課長、  
健康づくり課長、健康づくり課管理GL、健康づくり課母子保健GL、  
健康づくり課成人保健GL

傍聴者 なし

### 会議概要

#### 1 開会

○資料確認

#### 2 委員の紹介

○委員自己紹介

○会議成立の報告

○会議の公開について

#### 3 あいさつ

○尾崎会長あいさつ

#### 4 協議事項

(1) すずか すこやか健康プラン 2031（案）について

○資料1、2説明（事務局）

##### 【質疑応答】

議長 基本的な考え方などの説明はしないのか。  
事務局 前回の協議会で説明しているので、今回はなしとしたい。  
委員 資料2の表紙下段「令和6年3月」について、本編の中では西暦で記載されている箇所もあるが、ここと最後のページの発行日も「令和6年3月」と和暦で記載されている。西暦記載の「2024年3月」にした方がわかりやすいのではないか。  
P61以降のライフステージ別の表について、黒丸がついているが、黒丸の意味はどこかに記載されているのか。初めて見る人は黒丸が何を意味するかわからないのではないだろうか。黒丸が最初に出てくるところなど、どこかに「黒丸については取組内容が対象となるライフステージです」等の説明がある方がわかりやすいのではないか。

P98 から、相談窓口の連絡先等を掲載しているが、受付時間や電話番号が変更される可能性もあるため、この情報がいつ時点のものか記載する必要があるのではないかと。また、変更になることがある点について、了承を得る旨の記載がある方がよいのではないかと。

事務局

1 点目の表紙の発行年月について、市全体で統一して和暦表現を使用しているが、ご意見があったことは報告させていただく。2 点目、3 点目は修正・追記する。

議長

できあがった計画はどのように周知していくのか。

事務局

印刷製本し、地区市民センター等の市の施設などに配置して見ていただけるようにするとともに、市のウェブサイトにも公開し、検索すれば誰でも見ることができるようにする。また、配布用の概要版も作成予定である。

議長

印刷は何部ほどするのか。

事務局

本冊は 200 部、概要版は 500 部印刷する予定である。冊子が配布されない方には、ウェブサイトでの閲覧をしていただければと考えている。

議長

200 部だと医師会全員に配布することはできなさそうである。せつかなのでみんなに見てもらえればとは思いますが。

委員

外国語版の作成予定はあるのか。

事務局

外国語版の作成予定はない。

委員

外国人の方への情報発信について、多文化共生は課題となっており、他の計画も並行して策定しているところであるが、自動翻訳等を利用し、計画内容を翻訳して発信することはできないだろうか。外国人を含めた市民の皆さんの安心のため、検討いただいた方がいいと思う。

事務局

本冊は専門用語などもあるので翻訳が難しいかもしれないが、概要版については調整及び検討する。

委員

鈴鹿市の公式キャラクターは出てこないのか。他の市町の計画を見ると、キャラクターが掲載されているものもある。キャラクターや鈴鹿市の特徴的なものが載っているだけでも「らしさ」が出るし、それが鈴鹿市の「売り」にもなるのではないかと。キャラクターも頑張ってくれているし、計画に愛着を持てるようにキャラクターの掲載を検討いただきたい。

事務局

掲載について検討する。

議長

計画のことを知ってもらうためには、手に取るハードルを下げる必要があるのではないかと。例えば病院の待合に 1 冊設置し、待ち時間にちょっと手に取れるようにする等しなければ、なかなか読んでももらえないのではないかと。検索してウェブサイトまで見に行く人は少ないだろう。計画の内容として、市民も興味がある内容もあると思う。

委員

概要版も皆さんに親しみやすいものにして、手に取ってみようかなというものにしてほしい。

事務局

周知方法については、様々な手段を検討する。計画冊子を置く場所も再度検討する。

- 委員 今後、包括連携協定を進めていく他の事業でも、健康に関する冊子を医療関係の場所に設置するとのことである。医療機関の待合というのは、健康を身近に考え、注意してもらうために適した場所なので、薬局やドラッグストアなども含めて設置を広めてもらえればと思う。また、今回の計画は自殺対策計画も含んでおり、孤立化等の課題に地域づくりとして取り組んでいかないといけない面もあり、鈴鹿市にもこのような計画があることを知ってもらうことも大切だろう。地域づくりや自治会関係で、回覧板に概要版を挟み込むことで見てもらう機会を作ることもできるだろうし、周知を積極的にやってもらいたい。
- 事務局 計画の周知は大切だと考えており、様々な方法を検討していきたい。また、自殺対策や健康づくりについて、チラシ等にも計画の内容や目的を入れていきたいと考えている。
- 委員 計画の進行管理はどうするのか。これまでの計画も、取組内容は多岐に及んでおり、この協議会の場で詳細な資料を受け取ってはいるが、非常に情報が多いので読み切れないところもあった。ある程度重点的なものに協議を絞る等、何をどう検討していくか要点を抑えたほうが、来年度からの進行管理もわかりやすいのではないか。
- 事務局 進行管理方法について検討する。
- 委員 P106「高血圧症」の項目について、最低血圧の数字が抜けている。また、診察室血圧という言葉が一般の人には何を指しているかわかりづらい。補足の説明があるといいだろう。
- 協議会へ参加するにあたり事前に資料を配布いただくが、その際に会議までにこういうことを考えてきてくださいということを示してもらえると、より資料に目を通しやすいと思う。
- 事務局 P106については修正する。資料の事前の配布についても検討する。
- 委員 P98 からの相談窓口一覧について、掲載の並び順はどういう基準なのか。P99に「子どもの問題行動」があり、そのあとに「警察」が来ている等あまり読みやすい形になっていない。
- 事務局 三重県の「こころのケアガイドブック」を一部改訂して作成しており、並び順もそれを参考にしている。読みづらいという意見を踏まえ、並び順について再度検討する。
- 委員 P74、11の「後期高齢者歯科健康診査」について、市民への案内では「75歳からの市のチェック健診」といった名称に変わっていると思う。「後期高齢者歯科健康診査」というと歯の状態しか見ないのかと言われるが、高齢者の義歯や嚥下状態についても見るとなっている。当初は75歳と80歳だったが、今年は75、76、77、80歳が対象となっており、対象となる年齢も増えていく傾向にあるので、対象年齢も入れたほうがいいのではないか。
- 事務局 各課からいただいた事業の文案を尊重して記載しているが、お口チェックについて担当課に確認し、表現を検討する。

## 5 その他

- 来年度の次回推進協議会は9月か10月の予定。
- 委員の任期は令和6年12月31日までとなっているが、任期の途中で役職等の交代があった場合は事務局に連絡いただきたい。
- 健康福祉部長あいさつ

## 6 閉会

以上